

消防だより

今年の出動件数

有田川町消防本部 ☎52・5950
 吉備金屋消防署 ☎52・5950
 清水消防署 ☎25・1243

火災 : 4件
 救急 : 572件
 救助 : 4件
 (令和2年(2020年)6月30日現在)

病院紹介(和歌山県救急医療情報センター) ☎073・426・1199

救急車がくるまでに

消防署では119番通報を受け、状況を確認後、救急車が駆けつけるまでに応急手当てなどの協力をお願いすることがあります。

内容は主に次のようなものです。

●胸骨圧迫

- ・状態／呼びかけても返事がなく、呼吸しているかどうか分からないとき
- ・方法／胸の真ん中を両手で強く、速く、絶え間なく押す。約5cm沈む程度。リズムは1分間に100〜120回の速いテンポで。



●異物除去・背部叩打法

- ・状態／喉に物が詰まって呼吸ができませんくなっているとき
- ・方法(背部叩打法)／手の付け根で肩甲骨の間を力強く叩いてあげる。

※強い咳ができる場合には、できるだけ強い咳を続けさせてください。



●直接圧迫止血法

- ・状態／けがなどで出血が止まらないとき
- ・方法／清潔なハンカチ・タオルなどを出血部位に当て、強く圧迫する。

●水道水での冷却

- ・状態／やけど
- ・方法／袋などに水を入れてやけどした部位に当てる。すぐに衣服の上から水で冷やすことが重要。

いずれも救急車が到着するまでに実施してもらいたい応急手当てです。通報者の方は落ち着いて内容を聞き、指示通りに手当てを行ってください。また、傷病者の保険証、お薬手帳などを事前に用意していただくと、医療機関への情報提供がスムーズに行えます。

ご協力よろしく申し上げます。

大雨・台風が来る前に

初夏から秋にかけては、大雨や台風による被害が発生しやすい季節です。近年は突発的・局地的な大雨が増え、おり、人々の命が脅かされるような自然災害が頻繁に発生しています。

早め早めの防災行動をとり、危険から身を守りましょう。

事前の備え

- ・避難の際には帽子をかぶり、動きやすい服装を心掛け、濡れても良



- ・い歩きやすい靴を履きましょう。
- ・風雨が強くなる前に家屋の補強を行いましょう。
- ・避難場所と避難経路の確認を行いましょう。
- ・側溝や排水口は掃除して、水はけを良くしておきましょう。
- ・風で飛ばされそうな物は固定したり、家の中へ移動させたりしま

- ・非常用持ち出し品の確認をしま
- ・しょう(懐中電灯・携帯用ラジオ・救急薬品・衣類・非常用食品・貴重品など)。
- ・飛来物の飛び込みに備えて、カーテンやブラインドをおろしておき